

| 通し番号 | 章 | 主な内容 | ご意見の要旨 | ご意見に対する本市の考え方 |
|------|----------------------------|--|--|--|
| 1 | 第1章 第2章 | | <p>読書しない子どもを減らす 読書が好きな子供を増やす どちらの目標達成のためにも、子どもの身近に本があって子どもと本をつなぐ大人の存在が必要だと思います。</p> <p>乳幼児期の保護者の語りかけや保護者、保育者による絵本の読み聞かせやお話を聞く機会はとても大切なので、ぜひ継続して施策を進めてほしいです。</p> <p>家庭に本や絵本がないのなら地域図書館や保育園、幼稚園、子育て施設などで絵本に触れる機会を作ることが大切です。</p> <p>近年急増している外国にルーツを持つ子どもたちや障害を持つ子どもたちへ中央図書館から適した絵本や資料を取り寄せるにも学校司書がいてつなぐことが必要です。</p> | <p>本市では、赤ちゃんと保護者が絵本を通して楽しい時間を分かち合えるよう、子ども・子育てプラザやつどいの広場等において、3か月児健診の対象となる親子に絵本をお渡しし、絵本についてのお話と読み聞かせ体験をセットで提供するブックスタート事業を実施しております。今後も関係機関と連携し、絵本を通じた子育て支援を継続してまいります。</p> <p>また、保育所においては、日常的に保育士が絵本や物語を読むことで、言葉に対する感覚を豊かにし、保育士等や友達と心を通わせるように努めています。引き続き絵本や物語の読み聞かせを通して、こどもの豊かな感性や表現する力を養い、創造力を育ててまいります。</p> <p>p.14「ア 障がいのある子ども」、p.15「エ 外国につながる子ども」に、ひとりひとりの状況に応じた取組を進めることを記載しております。引き続き、学校司書の配置体制の充実も含め、学校図書館の整備・充実、子どもたちの読書意欲を高める環境づくりに努めてまいります。</p> |
| 2 | 第1章 1(1) | 1子どもの読書活動をめぐる状況 (1)子どもと読書の現状 | <p>表の数値が小さくて見にくいです。</p> <p>読書と学力の関係の本文中で、認知と非認知の言葉の使い方で、機能と能力に分けているところに違和感を感じました。どちらも「能力」でいいのではないのでしょうか。</p> | <p>第1章のグラフのサイズ等を修正しました。</p> <p>「意識・非認知能力」「認知機能」の語句については『「子どもの頃の読書活動の効果に関する調査研究」報告書』（国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター,2021）より引用しております。</p> |
| 3 | 第1章 1(1) 第2章 1(2) | 1子どもの読書活動をめぐる状況 (1)子どもと読書の現状 1子どもの読書環境の整備・充実 (2)学校教育における読書 | <p>学校図書館の環境整備では漫画もおいて欲しい。</p> <p>中学生がクラブに行く前に10分でも図書室に行ける時間を確保して欲しい。</p> <p>先生も本を読んでいない、と聞きます。保護者だけでなく、先生が本を読んでいる姿は子供達の意識につながると思います。</p> <p>子供にも読み聞かせ講座を実施しても良いと思いました。何でもやってみよう子供の好奇心を揺さぶり、読書のきっかけになりそうな気がしました。</p> | <p>読書を狭くとらえず、興味や関心に合った本と出会うことが、子どもの読書意欲を高め、豊かな読書経験につながると考えます。読みたいと思える本が身近にある環境整備を一層進めてまいります。</p> <p>小中学校及び義務教育学校における図書室利用等の学校裁量の時間の確保につきましては、文部科学省からの通知に基づき、各校の実情に合わせた指導体制や教育課程の工夫・改善等により、教育の質の向上を図るよう周知を行っております。児童生徒の読書活動の充実が図れるように、引き続き、指導・助言等の支援をしてまいります。</p> <p>大人への啓発につきましては、p.22 3(2)「ア 大人をターゲットとした広報・啓発」で述べております。</p> <p>児童生徒による低学年や未就学児への読み聞かせは、さまざまな学校で行われています。希望に応じて、市立図書館の司書を講師として派遣しております。</p> |
| 4 | 第1章 2(1) | 2大阪市における子どもの読書活動 (1)大阪市の子ども・教育施策と読書活動について | <p>大阪市教育振興基本計画の説明の中に「我が国や郷土の文化・伝統を尊重し、広く伝えるとともに」が抜けています。</p> <p>グローバル化が進展する世界だからこそ、必要な事なので明記して下さい。</p> | <p>各計画については概要のみの紹介となります。詳しくは各計画の本文をご参照ください。本計画につきましても、引き続き、「大阪市教育振興基本計画」の理念に基づいた読書推進の取組を進めてまいります。</p> |
| 5 | 第1章 2(2) 第2章 1(2) | 2大阪市における子どもの読書活動 (2)大阪市における子どもの読書の現状と課題 1子どもの読書環境の整備・充実 (2)学校教育における読書 | <p>現代では、本の他にもSNSやゲーム、音楽や動画配信など刺激的で魅力のあるメディアが多く、何も手立てをせず放っておいたら子どもたちはますます本を手にとらないでしょう。</p> <p>学校図書館は、児童生徒にとって毎日通う学校の中にある施設で、読書に親しむためには欠かせない場です。</p> <p>学校司書や先生方が連携して子どもたちに根気よく読書の意義を伝え、本を手渡す取り組みを続けることが重要だと思います。</p> <p>子どもたちが毎日学校図書館を利用できるよう、学校司書の週5日配置と、学校教育に学校図書館を根付かせる取り組みの周知が必要だと思います。</p> | <p>学校図書館は、学校教育において欠くことのできない基礎的な設備であり、教科学習だけでなく、学校行事や児童会・生徒会活動、クラブ活動など、全ての教育活動で活用でき、子どもたちの学びを支えています。</p> <p>学校図書館の開館は、学校司書だけでなく、学校図書館に関わる教職員、図書ボランティア等によっても行われ、児童生徒が学校図書館を利用できるよう、各学校で工夫しております。</p> <p>学校において、朝の読書、ビブリオバトル、味見読書、読書週間に合わせた催しなど読書への動機づけになる取組が実施されております。これらの取組事例を、学校司書や学校へ共有してまいります。</p> <p>学校図書館活用方法や学校司書の役割について、教員への周知を図るために教員研修を実施してまいります。</p> <p>引き続き、学校司書の配置体制の充実も含め、学校図書館の整備・充実、子どもたちの読書意欲を高める環境づくりに努めてまいります。</p> |
| 6 | 第1章 2(2) 第2章 1(2) | 2大阪市における子どもの読書活動 (2)大阪市における子どもの読書の現状と課題 1子どもの読書環境の整備・充実 (2)学校教育における読書 | <p>市立図書館から小中学校への団体貸出冊数の減少について、学校図書館の蔵書の充実によると分析されています。確かに大きな要因であるとは思いますが、学校図書館が充実することによって、子どもたちの読書への意欲が増し、よりたくさんの図書が必要になる、という現象が起きているのではないかと（期待をこめて）とも思います。</p> <p>教育活動のなかで調べ学習等どのような取組が行われているのか、市立図書館から貸出した図書が授業でどのように使われているかをきちんと分析する必要があると思います。</p> | <p>市立図書館から学校への団体貸出等支援にあたっては、調べ学習等の教育活動の中で図書資料やデジタルコンテンツがどのように活用されているかを把握・分析し、より効果的な教育活動につながるよう、学校と市立図書館が連携・協力して取り組んでまいります。</p> |

| 通し番号 | 章 | 主な内容 | ご意見の要旨 | ご意見に対する本市の考え方 |
|------|-------------------|--|--|--|
| 7 | 第1章 2(3) | 2大阪市における子どもの読書活動(3)第5次計画の方向性 | 指導部が、大阪市における読書活動推進の中心的存在とし大阪市子ども読書活動推進計画を策定、進行管理、関係機関等の連絡調整を担うべきと考える。なぜなら、子どもの読書活動の中心は学校教育であると考えている。 | 指導部といたしましては、学校図書館が、読書指導・活動の拠点としての読書センター機能と、教育課程の展開に寄与し情報活用能力の育成に必要な支援を行う学習・情報センター機能等の役割を果たすために、中央図書館学校図書館支援担当と連携し、引き続き読書活動推進に努めてまいります。 |
| 8 | 第2章 | 1子どもの読書環境の整備・充実 | 図書館の数や図書費などが近隣他市と比較し圧倒的に少ないのが気になります。乳母車を押して行けるところに図書館をつくる、資料購入費を増額する、図書館機能を大幅に向上させることが必要だと考えます。 | 本市では、各行政区に1館全24館の市立図書館ならびに自動車文庫2台を整備し、中央図書館を中心に、物流と情報のネットワークを組んで、市域全体に効率的かつ効果的なサービスの提供に努めております。図書館費、とりわけ資料購入費については、限られた財源を有効に活用するよう、「大阪市立図書館資料収集方針」に沿って資料収集を行っております。また、図書については各館で分散して収集することでタイトル数の確保に努めるとともに、定評のある児童書および絵本に関しても、計画的な買い替えを行っております。 |
| 9 | 第2章 1(1) | 1子どもの読書環境の整備・充実(1)子どもの状況に応じた読書環境 | 中央図書館は、社会教育施設、生涯学習施設でありながら、大阪市では学校図書館や学校司書の支援の重責も担っており、もう少し司書の人数を増やしたり育成したりするべきではないでしょうか。現在職務を担っている職員に多大な負担をかけているのではないのでしょうか？ また、人口に比して各区の図書館に二人ずつしか司書がないのは少なすぎると思います。 | 市立図書館は、限られた人員の中で効果的に図書館サービスを提供できるよう、窓口等業務を一部民間委託することで本市職員(司書)が専門業務に従事できるようにするなど、効率的な運営に努めております。引き続き、司書を配置し、着実に計画を推進してまいります。 |
| 10 | 第2章 1(1) ①ウ | 1子どもの読書環境の整備・充実(1)子どもの状況に応じた読書環境①年齢・発達段階ウ ティーンズ層 | 中央図書館の取り組みは評価しています。ただクラブなどもあり中央図書館を利用できない生徒もたくさんいます。府立高校への学校司書も配置するように府へも働きかけてください。 | ティーンズ向けのニュースレター「りんご通信」(月刊)を図書館ホームページやSNS(X)で発信するなど、中央図書館を利用できないティーンズ層へも情報提供を行い、ティーンズ層が主体的に本と出会い、読書の楽しさを実感できるよう取組を進めております。府立高校への学校司書配置につきましては、大阪府教育庁が実施する市町村子ども読書活動推進担当者連絡会において情報共有を行ってまいります。 |
| 11 | 第2章 1(1) ②ウ | 1子どもの読書環境の整備・充実(1)子どもの状況に応じた読書環境②ひとりひとりの状況ウ 貧困に直面している子ども | 『令和2年度 青少年の体験活動の推進に関する調査研究』に「収入の水準が相対的に低い家庭の子供であっても、体験をする機会が比較的多くあった子供はその後の意識等の水準が高い傾向にあることが明らかになった。また、一部の分析において、体験がその後の意識等の水準に影響する度合いが、収入の水準が相対的に低い家庭の子供に関して特に高いのではないかと考えられるような結果も得られた。」(読書も体験活動のひとつとして分析対象)と記述されています。子どもに寄り添った取組が少しずつ増えていくこととその共有化を期待します | 「大阪市こどもの貧困対策推進計画(第2期)」において、主な課題のひとつに学習習慣・生活習慣に関することとして、困窮度が高くなるにつれ、こどもが学校の授業以外に勉強や読書を、「まったくしない」と回答した割合が高くなっていることを挙げており、具体的な取組のひとつとして、教育委員会事務局における「学校図書館活用推進事業」に取り組んでいくこととしております。「第5次大阪市子ども読書活動推進計画(素案)」にも記載のとおり、家庭の経済状況によって読書を楽しむ機会が阻害されることのないように、子どもたちが安心して本に親しめる読書環境を整備するなど、「大阪市こどもの貧困対策推進計画(第2期)」と連動した読書環境の充実に取り組んでまいります。いただいたご意見は今後の取組の参考にさせていただきます。 |
| 12 | 第2章 1(1) ③ウ | 1子どもの読書環境の整備・充実(1)子どもの状況に応じた読書環境③多様な「場」ウ その他(区役所等) | 「児童いきいき放課後事業における読書環境の充実」においても、学校図書館の活用を進めていって欲しい。その際図書館支援ボランティアと協力して取組む(本の読み聞かせ、本の貸し出し、返却等)。 | 児童いきいき放課後事業における読書環境の充実につきましては、いきいき活動室や学校図書館での読書や読み聞かせ、市立図書館からの図書の団体貸出などを行っています。今後も小学校や図書館支援ボランティア等と連携して読書環境の充実を図ってまいります。 |
| 13 | 第2章 1(2) | 1子どもの読書環境の整備・充実(2)学校教育における読書 | 学校司書の増配置が触れられていません。ぜひ増やしていただきたいです。 小学校の貸出冊数は年々増えているのに、中学校ではどんどん減っています。本当に本の面白さに気づいたら、忙しくてもこんなに減りません。本の楽しさに子供が気づけるような取組をしていただきたいです。 | 引き続き、学校司書の配置体制の充実も含め、学校図書館の整備・充実、子どもたちの読書意欲を高める環境づくりに努めてまいります。中学校における読書活動推進については、読書への動機付けになる取組事例を学校司書や学校へ共有する等、取組を広げてまいります。 |
| 14 | 第2章 1(2) | 1子どもの読書環境の整備・充実(2)学校教育における読書 | 先日発表された文部科学省の図書館についての有職者会議報告書骨子案では、学校図書館は「学びの深化を担う場」と位置付けています。せめて17ページに 教科学習における学校図書館の利活用を促進し といった文言を追加できないでしょうか。 | 授業での様々な学習における利活用を通して、子どもたちの言語能力、情報活用能力等の育成を支えることを、学校図書館の役割として位置付けております。p.17(2)「学校教育における読書」に、学校図書館の利活用についての大阪市の方向性を示す一文を追加いたしました。 |

| 通し番号 | 章 | 主な内容 | ご意見の要旨 | ご意見に対する本市の考え方 |
|------|---------------------|--|--|---|
| 15 | 第2章 1(2) | 1子どもの読書環境の整備・充実 (2)学校教育における読書 | 全ての小学校に学校司書の週五日配置を求めます。週一日配置では、全然足りません。子どもたちの読書離れが進む中、子どもと本をつなぐ人が必須です。学校図書館が毎日開館していることが大切です。教室に入りにくい子どもたちの居場所にもなります。 | 学校図書館の開館は、学校司書だけでなく、学校図書館に関わる教職員、図書ボランティア等によっても行われ、児童生徒が学校図書館を利用できるように、各学校で工夫しています。 引き続き、学校司書の配置体制の充実も含め、学校図書館の整備・充実、子どもたちの読書意欲を高める環境づくりに努めてまいります。 |
| 16 | 第2章 1(2) | 1子どもの読書環境の整備・充実 (2)学校教育における読書 | 大阪府が取り組みをはじめ成果を上げている「総合的読解力」も大人になってから特に必要になる能力だと思えます。 学校図書館活用事例を共有できたとしても週1日の学校図書館司書の配置ではどう考えても同じことを進めていくのは物理的に無理です。 | 本市では、「情報を読み取る」「考えを形成する」「考えを交流する」「考えを表現する」等の言語活動を、年間35時間というカリキュラムを通して体系的・段階的に扱うことは、子どもたちの思考力・判断力・表現力等の育成を組織的に図るうえで必要な取組と考え、「総合的読解力育成カリキュラム」を実施しております。 引き続き、学校司書の配置体制の充実も含め、学校図書館の整備・充実、子どもたちの読書意欲を高める環境づくりに努めてまいります。 |
| 17 | 第2章 1(2)ア | 1子どもの読書環境の整備・充実 (2)学校教育における読書 ア 学校図書館の環境整備 | 学校司書の勤務日（原則各校1日）を増やし、各校2日ないし3日とすべき。現状では、子どもと学校司書とのコミュニケーションをとる時間があまりに少ないと思う。それは学校の教員とのコミュニケーションについても言えると思う。 | 学校司書の勤務時間内に、教職員との打ち合わせ時間の確保が難しい状況は承知しており、課題と考えています。教員研修の実施等、様々な機会を通じて、学校図書館活用方法や学校司書の役割について、教員への周知を図り、学校司書と教員の連携を深めることで打合せ時間等の確保に努めてまいります。引き続き、学校司書の配置体制の充実も含め、学校図書館の整備・充実、子どもたちの読書意欲を高める環境づくりに努めてまいります。 |
| 18 | 第2章 1(2) 3(2) | 1子どもの読書環境の整備・充実 (2)学校教育における読書 ア 学校図書館の環境整備 3子どもと読書に関わる人のつながり作り (2)読書活動推進の担い手への支援 | 安易にボランティアに負担をかけるのは避けていただきたいです。 学校図書館でのボランティア活動は、読み聞かせや図書館開放・飾りづくり等、長く楽しく活動されている方もおられます。これまで多くの学校では学校司書が週1日しか配置されず、学校では活動の調整していただく立場である図書主任の先生や教頭先生が多忙であるため、活動のために連絡するのにかなり気を遣い工夫が要りました。 学校司書が毎日勤務するようになれば、学校との連絡もしやすくなり、より子ども達にとって魅力的な読書支援の取り組み等を進めていけるのではないかと期待したいです。 | 小学校の学校図書館支援ボランティア、中学校の「学校元気アップ地域本部」の学校支援ボランティア、市立図書館を拠点として活動する図書ボランティアなど、多くのボランティアにより、学校図書館や読書活動が支えられています。児童生徒の読書環境をより一層充実させるために、ボランティアの知識・技術・経験を生かして活動していただけるよう、今後とも支援に取り組みます。 引き続き、学校司書の配置体制の充実も含め、学校図書館の整備・充実、子どもたちの読書意欲を高める環境づくりに努めてまいります。 |
| 19 | 第2章 1(3) | 1子どもの読書環境の整備・充実 (3)デジタルネイティブ世代の読書 | 電子書籍等の利用実績はどのくらいありますか？ 子ども達が利用しているのを聞いたことがありません。効果の薄いデジタルにお金をかけて、求められている人にお金をかけないといったことになっていませんか？ ハンディのある人にはデジタルが適していることもあるがサポートが必要であり、やはり、学校司書の増配置が一番効果があるのではないかと考えて仕方ありません。 | 市立図書館が提供している電子書籍サービスEBSCO eBooks（エブスコ・イーブックス）の令和6年度アクセス件数は34,420件で、令和5年度より増加しています（アクセス元の内訳は不明）。市立図書館では小学生、中学生、高校生、教員向けのおすすめの電子書籍リストを作成し、子どもたちの学習に役立つ資料にアクセスできるように利用促進に取り組んでおります。 p.19 1(3)「イ メディアごとの特性の理解」にあるとおり、紙の本とデジタルとのそれぞれの特性を活かした読書活動の推進に取り組んでまいります。いただいたご意見は今後の取組の参考にさせていただきます。 |
| 20 | 第2章 1(3) | 1子どもの読書環境の整備・充実 (3)デジタルネイティブ世代の読書 イ メディアごとの特性の理解 | ただデジタル化を進めるだけでなく、特に低学年での電子機器の使用のマイナス面が多いことが分かってきているので使い始めるまでに保護者にも教師にも周知が必要です。 紙デジタルそれぞれの特性を知ったうえで使っていくことがますます重要になります。 | 各学校には、発達段階に応じて適切にICTを活用するよう周知・啓発しております。「デジタルか紙か」といった二項対立に陥らず、引き続きバランス感覚を持った活用に努めてまいります。 |
| 21 | 第2章 3(1) | 3子どもと読書に関わる人のつながり作り (3)連携・協働の輪を広げる取組 ア 課題の把握・情報共有・ネットワーク作り | 子どもは本が嫌いになったわけではなく魅力的な本がまわりにおいてそれをつなぐ人がいれば喜んで読んでいきます。大阪市の子もだけが特別本嫌いなわけではないはず。主幹学校司書のいる学校の子どもたちは自分のことをよくわかってきている司書に話を聞いてもらったり本を進めてもらったりして、今年度から週1日配置になってしまい、なぜ？残念、と思っています。ぜひその声を大事にしてください | 引き続き、学校司書の配置体制の充実も含め、学校図書館の整備・充実、子どもたちの読書意欲を高める環境づくりに努めてまいります。 |